

団体名:ニシヤマ・イバシヨラボ

活動名:イベントを通じて地域住民同士のコミュニティ形成のきっかけと街に新たな「居場所イバシヨ」を創り出す

日時:令和3年 11月19日(金) 10時30分 ~ 11時30分
場所:ニシヤマナガヤ(名東区)

◆◇団体の紹介◆◇

マンモス校である西山小学校を中心に、老若男女の多くの人々が住む西山学区。マンション単位や、幼稚園・保育園・小学校等の同級生単位のコミュニティは存在するものの、その垣根を超える交流は発生しづらい状況にあると感じられる。

そんな学区の中に、商店街の空き家店舗を借りて「ニシヤマナガヤ」というカフェや花屋が入る複合施設を作り、そこでイベントなどを行うことにより、地域住民同士のコミュニティ形成を促し、街に新たな「居場所（イバシヨ）」を創り出す事を目的とする。

◆◇活動の内容◆◇

「ニシヤマナガヤ」は、ニシヤマ商店街の空き店舗を活用して作られたフリースペースで、名古屋市の商店街商業機能再生モデル事業から誕生した施設です。ここを拠点に、今年はずでに、書道やミシンのワークショップ等、色々なイベントを開催されました。今回の活動視察では、毎月第三金曜日に開催している「エホンノジカン」を見せていただきました。



オシャレな花屋さんの入り口からはいって奥の階段を上ったところが、イベント会場です。お子さんの危険防止のために設置されている低い柵を開けて中に入ると、赤ちゃんから幼児といった年代のお子さんを連れた保護者の方が、5組ほどみえました。皆さん、徒歩や自転車のみえている地域の方々とのことです。

講師として招かれた「せつこ先生」が、ハンカチ遊び、絵本の読み聞かせ、「大きな栗の木の下で」の手遊び、童謡、パネルシアターなどを披露。小さな子どもたちを楽しませることは、いつの時代も変わらないもの。大人たちも懐かしさを感じると同時に、可愛らしく、笑ったり体を動かす子らを見て、和やかな時間となりました。

主催者からは「今年、何度かイベントを行って、軌道にのってきた。横のつながりができてきた」というお話が聞けました。

本日は、子育て世代向けのイベントでしたが、色々な世代が繋がれるような活動を目指しているということで、引き続き応援していきたいと思えます。